

第31回 源氏物語アカデミー プログラム

開催日	時間	内 容	会 場
10/19 (金)	18:00 18:20	開 講 式	ホテル クラウンヒルズ 武 生
	18:20 19:10	講 義「千年前の望月」 同志社女子大学名誉教授 おぼろ や ひさし 麿 谷 壽 氏	
	19:20 20:50	講 義「物語絵と姫君たち」 愛知学院大学教授 かわ な じゅん こ 川 名 淳 子 氏	
10/20 (土)	8:30 12:10	現地研修「岩佐又兵衛と源氏絵」●福井県立美術館 特別鑑賞「岩佐又兵衛の源氏絵」ほか ●福井市郷土歴史博物館 解説 福井県立美術館主任学芸員 とだ ひろ ゆき 戸 田 浩 之 氏 秋季特別展観覧 企画展観覧「幕末明治のアートシーン～福井ゆかりの作家と同時代の巨匠の作品から～」 ●養浩館庭園観覧	福井市内
	13:00 14:00	昼 食	サバエ・シティホテル
	15:00 16:30	講 義「源氏物語における絵画化の場面」 東京大学大学院教授 たか ぎ かず こ 高 木 和 子 氏	ホテル クラウンヒルズ 武 生
	16:40 18:10	講 演「源氏絵の世界 — 響き合うイメージと多様な形式 —」 学習院大学教授 さ の みどり 氏	ホテル クラウンヒルズ 武 生
	18:45 20:15	宴 席「紫きぶ御膳」	料亭 鎌仁別荘
10/21 (日)	9:00 10:30	講 義「源氏物語の入内断念」 慶應義塾大学准教授 くり もと かよ こ 栗 本 賀 世 子 氏	ホテル クラウンヒルズ 武 生
	10:40 12:10	原文講読 絵画化された「横笛」「夕霧」巻 日本女子大学名誉教授 こ どう しょう こ 後 藤 祥 子 氏	
	12:10 12:25	閉講式・講評 監修者 麿 谷 壽 氏	

※ プログラムの内容は変わることがあります。

- ◇参加会費 ●受講料 / 4,000円 (各講義/講演/原文講読) ●現地研修 / 4,000円 (バス代・入館料・昼食)
●講義テキスト / 2,000円 ●紫きぶ御膳 / 6,000円
●20日講義・講演 (15:00～18:10) / 市民公開講座

◇申込期限 9月30日(日) 期限厳守でお願いします。

[お申込み・お問合せ]

源氏物語アカデミー委員会

〒915-0832 越前市高瀬2丁目3-3 越前市文化センター内
TEL 0778-23-5057 FAX 0778-21-1975
Email: info@genji-ac.jp



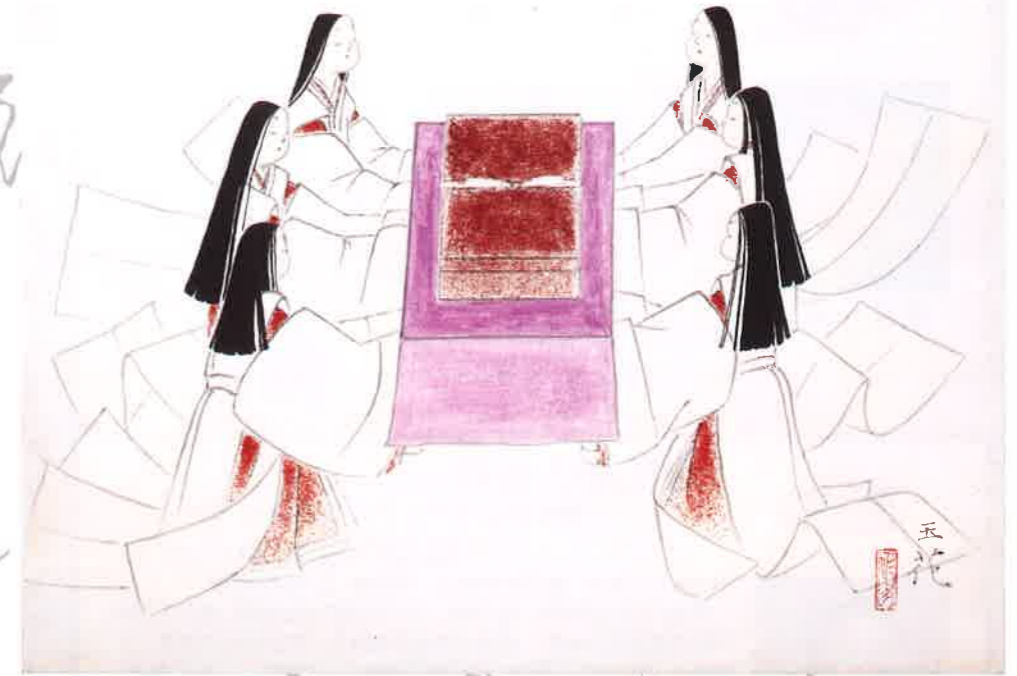
紫式部公園

写真/河合俊成

第31回源氏物語アカデミー

テーマ 源氏物語と画

監修 同志社女子大学名誉教授 麿 谷 壽



渡辺玉花 源氏物語五十四帖(絵合)

会期：平成30年10月19日(金)～21日(日)

会場：ホテル クラウンヒルズ武生ほか

主催：源氏物語アカデミー委員会 紫式部顕彰会

共催：(公財)越前市文化振興・施設管理事業団

後援：福井県 福井県教育委員会 越前市 越前市教育委員会

武生商工会議所 (一社)越前市観光協会 古典の日推進委員会

第31回 源氏物語アカデミー

テーマ 源氏物語と画^え

源氏物語アカデミーへの誘い

「源氏物語」と紫式部を様々な角度から探求する源氏物語アカデミー、第31回の今年のテーマは「源氏物語と画」。アカデミー初登壇の佐野みどり先生、栗本賀世子先生をお迎えし、魅力あふれる源氏物語の世界を解き明かしていきます。さらに、アカデミー再登壇となります高木和子先生、川名淳子先生の講義、そしておなじみの臈谷壽先生、後藤祥子先生の講義・原文講読と充実のプログラムを用意いたしました。なお、二日目の現地研修では、福井ゆかりの絵師・岩佐又兵衛の源氏絵を尋ねて福井県立美術館を訪れるなど、錦秋の北陸路を満喫していただける行程となっております。どうぞお楽しみください。

講義 「千年前の望月」

10/19(金) 18:20~19:10



臈谷 壽氏

同志社女子大学名誉教授 (専)日本古代史、平安時代の政治・文化 (生)昭和14年 (学)同志社大学文学部文化史学科卒 (歴)財平安博物館助教授を経て、同志社女子大学現代社会学部教授。著書に『源頼光』『清和源氏』『王朝と貴族』『藤原氏千年』『源氏物語の風景』『平安貴族と邸第』『藤原道長』『平安王朝の葬送』『藤原彰子』など。紫式部顕彰会理事(京都)。第4回(平成3年)源氏物語アカデミーから講師として参加。第5回から監修者に就任。平成7年から源氏物語アカデミー委員会の要請により、国司下向再現実行委員会委員。紫式部千年祭(平成8年)でも監修委員に就任。平成17年度京都府文化功労賞受賞。

講義 「物語絵と姫君たち」

10/19(金) 19:20~20:50



川名 淳子氏

愛知学院大学教授 (専)平安時代の物語文学・日記文学 (生)昭和32年 (学)立教大学文学部日本文学科卒業・同大学大学院文学研究科日本文学専攻修了、博士(文学) (歴)東横学園女子短期大学、共立女子短期大学を経て、愛知学院大学文学部日本文学専攻教授 著書に『物語世界における絵画的領域 平安文学の表現方法』(ブリュッケ)、共著に『紫式部日記の新研究』『源氏物語の儀礼』の他、古典と絵画を楽しむ大人の塗り絵ノート『源氏物語絵巻』『枕草子絵巻』『鳥獣戯画』(角川書店)など。

講義 「源氏物語における絵画化の場面」

10/20(土) 15:00~16:30



高木 和子氏

東京大学大学院教授 (専)国文学、平安朝文学 (生)昭和39年 (学)東京大学文学部卒、同大学院人文社会系研究科修了、博士(文学) (歴)関西学院大学教授を経て、東京大学大学院人文社会系研究科教授。著書に、『源氏物語の思考』(風間書房、第五回紫式部学術賞)、『女から詠む歌 源氏物語の贈答歌』(青簡舎)、『男読み 源氏物語』(朝日新書)、『コレクション日本歌人選 和泉式部』(笠間書院)、『平安文学でわかる恋の法則』(ちくまプリマー新書)、『源氏物語再考 長編化の方法と物語の深化』(岩波書店)など。

講演 「源氏絵の世界 —響き合うイメージと多様な形式—」

10/20(土) 16:40~18:10



佐野 みどり氏

学習院大学教授 (専)日本美術史、芸術学 (生)昭和26年 (学)東京大学文学部卒、同大学院人文科学研究科満期退学、博士(文学) (歴)武蔵野美術大学・成城大学教授を経て、学習院大学教授 著書に、『じっくり見たい源氏物語絵巻』(小学館)、『風流 物語造形』(スカイドア、第一回紫式部学術賞)、『源氏絵集成』(藝華書院)、『新編名宝日本の美術10 源氏物語絵巻』(小学館)、『日本美術全集8 王朝絵巻と装飾経』(共著・講談社)、『中世日本の物語と絵画』(共著・放送大学)、『中世絵画のマトリックス』(編著・青簡舎)、『中世絵画のマトリックスII』(編著・青簡舎)他。

講義 「源氏物語の入内断念」

10/21(日) 9:00~10:30



栗本 賀世子氏

慶應義塾大学准教授 (専)源氏物語・うつほ物語を中心とした平安朝物語文学 (生)昭和56年 (学)東京大学文学部言語文化学科卒、同大学院人文社会系研究科修了、博士(文学) (歴)慶應義塾大学文学部准教授。単著に『平安朝物語の後宮空間』(武蔵野書院、第十六回紫式部学術賞受賞)、共著に『天空の文学史 雲・雪・風・雨』(三弥井書店)、『古代文学論叢 第二十輯 源氏物語 読みの現在 研究と資料』(武蔵野書院)、『新時代への源氏学4 制作空間の〈紫式部〉』(竹林舎)、『源氏物語 煌めくことばの世界II』(翰林書房)がある。

原文講読 絵画化された「横笛」「夕霧」巻

10/21(日) 10:40~12:10



後藤 祥子氏

日本女子大学名誉教授 (専)国文学、平安時代の和歌と物語 (生)昭和13年 (学)日本女子大学文学部国文学科卒、東京大学大学院人文科学研究科国語国文学専攻修士課程修了 (歴)日本女子大学文学部教授を経て日本女子大学学長。著書に『源氏物語の史的空間』『平安私家集』『狭衣物語1・2』、『はじめて学ぶ日本女性文学史』編著書に『源氏物語講座』『和歌文学論集』など。第4回(平成3年)源氏物語アカデミーから講師として参加。平成7年から源氏物語アカデミー委員会の要請により、国司下向再現実行委員会委員。紫式部千年祭では監修委員会委員に就任。源氏物語アカデミー常任講師

現地研修 10/20(土) 8:30~14:30

「岩佐又兵衛と源氏絵」

福井県立美術館

特別鑑賞「岩佐又兵衛の源氏絵」ほか 解説 福井県立美術館主任学芸員 戸田浩之氏

企画展観覧「幕末明治のアートシーン ~福井ゆかりの作家と同時代の巨匠の作品から~」

→ 福井市郷土歴史博物館 秋季特別展観覧「皇室と越前松平家の名宝」→ 養浩館庭園観覧



和漢故事説話図 源氏物語 須磨図 (福井県立美術館蔵)

天正6年(1578)に摂津国(兵庫県)の城主、荒木村重の元に生まれた又兵衛。村重が主君信長に反旗を翻し、その一族は斬首刑に遭いますが、当時2歳の又兵衛は、乳母とともに城を脱出して本願寺教団に身を寄せ、残党狩りを逃れるために荒木の姓を捨て、母方の姓、岩佐を名乗ったと言われています。成長した後、風神雷神図を描いた俵屋宗達と殆ど同時代に京都で活躍します。40歳頃、福井藩二代藩主・松平忠直の招きもあり、越前北ノ庄(福井)に下向し、およそ20年間、福井で多くの作品を生み出しました。したがって又兵衛の画業を語る上では、福井時代が非常に重要です。国宝、舟木本「洛中洛外図屏風」でよく知られている岩佐又兵衛ですが、自らの画業の中で追い求めた主題の一つに「源氏絵」があります。又兵衛の源氏絵は、俯瞰的に物語を描写するのではなく、それぞれの巻の場面を又兵衛独自の切り口で取り上げ、その描写に又兵衛の解釈が感じ取れます。

今回、県立美術館所蔵の岩佐又兵衛の源氏絵(「須磨図」「夕霧図」「浮舟図」)を特別に観せていただきながら、又兵衛研究の専門家、戸田氏の解説を楽しみます



戸田 浩之氏

福井県立美術館主任学芸員。
福井県生まれ。筑波大学卒業後、平成5年より福井県立美術館勤務。専門は日本近世絵画。

展覧会:「岩佐派のゆくえ展」1998年
「真宗の美展」2014年
「岩佐又兵衛展」2016年ほか
著書:「岩佐又兵衛全集」(共著)2013年 藝華書院
「別冊太陽 岩佐又兵衛」(共著)2017年 平凡社ほか



養浩館庭園